

## 市営住宅入居者募集

●募集期間／12月2日(月)～12月12日(木)  
募集案内や申込書等は、12月2日から住宅建築課で配付します。また、甲賀市ホームページでもご覧いただけます。

問／住宅建築課公営住宅係  
☎65-0609 / 63-4601

## 市営駐車場の利用者募集

●受付期間／12月2日(月)～13日(金)  
(土・日を除く9時～17時)  
●使用開始日／1月1日(水)  
●甲賀城南駐車場 11区画(うち軽自動車4区画)  
●甲南駅前自動車駐車場  
(身体障がい者用のみ2区画)

※申し込みの際は事前にお問い合わせください。  
(申込者多数の場合は抽選となります)  
問・申／生活環境課  
☎65-0686 / 63-4582

●油日駅前駐車場(直接お問い合わせください)  
☎3,000円/月  
問・申／油日駅を守る会  
☎88-5679

●甲南駅前駐車場(直接お問い合わせください)  
自転車 1,500円/月  
原付 1,800円/月  
問・申／甲南駅前駐車場  
☎86-0660  
(受付時間／6時15分～9時15分、13時～14時、18時30分～20時30分)

## ミシガン州立大学連合日本センター 冬季英語プログラム受講生募集

英語指導の専門教育を修めたネイティブの教官による実践的な英語講座を開講します。

●開講期間／平成26年1月6日(月)～2月20日(土)  
●会場／ミシガン日本センター(彦根市および、栗東、南草津)  
※会場によって開講される講座は異なります。

●申込締切／12月7日(土)  
●講座内容／各時間帯や習熟度に合わせた講座やTOEIC対策夜間講座など

●その他／受講料・講座内容のお問い合わせやお申し込みは問い合わせ先まで

問・申(資料請求)／ミシガン州立大学連合日本センター  
☎749-26-3400  
ホームページhttp://www.icmu.net/

## 相談へ12月

### 税理士による税務相談

●日時／12月11日(水)13時30分～16時30分(受付16時まで)  
●場所／水口納税協会3階会議室  
●定員／予約制で先着6名(1人約30分)  
※相談無料  
問・申／水口納税協会  
☎21-1151 / 63-0173

## 河川への油類流出の 情報提供にご協力を

年に数回程度、河川への油類等の流出事故が発生しています。もしも、上水道の水源地に油類が流入すると、浄水処理に影響が出てしまうことがあります。

市や県では、安定して安全な水道水を皆さんに届けるため、油類流出を早期に発見し対応できるよう努めておりますが、市民の皆さんにも「油」のようなものが川の水面に浮いている「油のような臭いがある」などの異変にお気づきの場合は、連絡先まで情報提供いただけますようお願いいたします。

連絡先  
市：上水道課 ☎86-8017 / 86-8660  
県：企業庁水口浄水場 ☎9445 / 63-0266

## 家屋を取り壊したときは 家屋滅失申請書の提出を

平成26年度の家屋に対する固定資産税は、平成26年1月1日に存在する家屋に課税します。そこで平成25年中に家屋を取り壊された場合(予定されている場合を含みます)には、平成25年12月25日(水)までに「家屋滅失申請書」を旧支所である土山地域市民センター、甲賀大原地域市民センター、甲南第一地域市民センター、信楽地域市民センターまたは税務課資産税係まで提出してください。家屋滅失申請書は、提出先窓口にありますので、お申し出ください。また、ホームページにも掲載していますのでご利用ください。

なお、今回家屋滅失申請書を提出いただいても、不動産登記は滅失されませんのでご注意ください。

※すでに法務局で家屋滅失の不動産登記手続きをされた場合には提出していただく必要はありません。

問い合わせ  
税務課 資産税係  
☎65-0680 / 63-4574

## 甲賀市の文化財

### 瓦から見た水口岡山城

水口町の古城山にはかつてお城がありました。現在は水口岡山城跡と呼んでいます。このお城は、豊臣秀吉の命により甲賀の直接支配と東国への牽制の拠点として位置づけられました。城主には中村一氏、増田長盛、長束正家という豊臣政権内で重責を担った人物がなっています。

水口岡山城からはこれまでに多くの瓦が出土していますが、その中には高島市の大溝城と同範(同じ型で作られた)の軒丸瓦があり、『西川家文書』にある大溝城の天守を解体して水口へ運んだという記述を裏付けています。かつて、織田信長の甥である織田信澄が城主を務めた城の建



大溝城と同範の軒丸瓦



矢川寺遺跡と同範の軒丸瓦

物を移築されたことは、秀吉にとって水口岡山城が如何に重要であったかを示していると言えるでしょう。また、水口岡山城の築城に関しては、甲南町矢川神社が所蔵する『矢川雑記』に矢川寺の堂舎を解体し、その部材を水口岡山城に利用したという記述があります。最近の調査で矢川寺遺跡から出土した軒丸瓦と水口岡山城跡で採集された軒丸瓦が同範であることが判明しました。『矢川雑記』の記載を裏付ける証拠です。

水口岡山城跡で出土する軒丸瓦には多種多様なものがあります。大溝城の天守や矢川寺の堂舎の部材を再利用したほか、築城にあたっては利用できる材料を集めてきたのかもしれない。

教育委員会では平成二四年度から発掘調査を行っています。調査は始まったばかりで、今後、新たな事実が分かる可能性もあります。水口岡山城跡の実態を解明するために今後の調査成果に期待をしています。

問い合わせ  
歴史文化財課  
☎86-8029 / 86-8216